

小国マルタ共和国の取り組み。規制を通じたイノベーション

国際社会経済研究所 (NECグループ) 主任研究員



小林 憲司

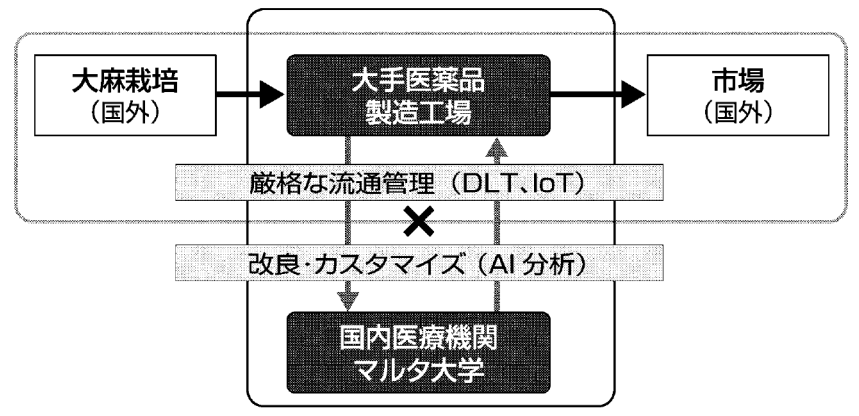
もう一つの特徴は、AIの社会実装に向けて、単なる商用化ではなく社会的価値を検証する点である。当面は交通、健康、教育、市民サービスを対象に、社会問題を解決する提案を国内外から募る。例としてマルタ政府は...

高い目標 ブロックチェーン ロックチェーンでの成功体験から「規制を通じたイノベーション」を強く打ち出した点に... 責任のあるAIの開発 拠点とし、海外の大手技術イベント「デルタサミット」では、幾つかユースケース(活用事例)を公開して、マルタのAI戦略への参画を呼び掛けるそう...

2018年11月にタスクフォースを立ち上げたAで国際的な倫理規範と整合した開発ガイドラインを策定し、第...

AIの世界トップ10目指す

マルタでのAIとブロックチェーンとを組み合わせユースケース 医療用大麻の製品開発でのセキュリティー強化



ナジーを期待してお地元の二つの大学に期待を寄せる。その潜在能力は高く、ハイテク工場ではAIなどを活用した生産革新を共同で進めており、AI企業に頼らなくても成果が出ているという。と... 高い新興産業(仮想通貨)は不足しており、この10年で外国人人口の割合は4%から14%まで急増している。この先、「先見の明」があり、マルタがどう対処していくのか、同じ状況にある日本にとっても注目に値する。

人材不足が課題

一方、課題として、急速なデジタル産業の発展に伴いSTEM(科学・技術・工学・数学)系の人材不足があることを教えてく... マルタは小国が戦えるニッチを常に探している。(金曜日に掲載)